

# 巻 頭 言

日本東洋医学研究機関連絡協議会会長

北里大学東洋医学総合研究所所長

花 輪 壽 彦

平素は日本東洋医学連絡協議会（日東医協）の活動に対して、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

いつも申し上げますように、この協議会の設立目的は各研究機関の横の連携を密にして、国内外の諸活動を円滑に進めようというものであります。

東洋医学の国際化はますますさかんになっており、国際会議でもしばしば漢方や鍼灸がとりあげられるようになりました。今年も 11 月に北京で WHO ジュネーブ主催の“WHO Congress on Traditional Medicine”が開催されます。私も WHO 伝統医学協力センターの一人として出席する予定です。国際間の information network が着々と、整備されていくことでしょう。そろそろ、国内の当連絡協議会でも、information exchange の会を開くころかと思考しております。

なお、本年も「会報」作りに御協力の程、感謝申し上げます。研究成果の年次報告は本会活動の一次資料となるものです。よろしく願いいたします。